

# 議会広報広聴委員会記録

令和7年11月21日（金）

13時30分～14時56分

第4委員会室

【出席者】大谷委員長、岡山副委員長、  
西田一平委員、今田委員、遠藤委員、花田委員、  
戸津川委員、沖田委員、 笹田委員、岡本委員

【事務局】下間局長、村山書記

---

## 議題

1 はまだ議会だよりVol. 80について…………… 資料1-1、資料1-2

(1) ページレイアウト

(2) 掲載記事及び原稿提出締切

(3) その他

2 はまだ議会だよりminiについて…………… 資料2

(1) 第42号掲載内容及び原稿担当

(2) その他

3 申し送り事項について

(1) 申し送り事項の確認

(2) その他

4 その他

【別紙会議録のとおり】

[ 13 時 30 分 開議 ]

○大谷委員長

ただいまから議会広報広聴委員会を開会する。出席委員は10名で、定足数に達している。それでは、レジュメに沿って進める。

1 はまだ議会だよりVol. 80について

- (1) ページレイアウト
- (2) 掲載記事及び原稿提出締切

○大谷委員長

事務局からお願いする。

○村山書記

( 以下、資料を基に説明 )

○大谷委員長

それでは、はまだ議会だより80号について、内容と担当を決めさせていただきた  
い。

表紙……西田一平委員

12月定例会議 今回はこれがポイント……岡山副委員長

12月定例会議トピックス……12月12日議会広報広聴委員会にて協議  
ぎかいポストに寄せられた意見への回答……岡山副委員長

地方議会サミット2025……笹田委員

神楽議連……会長

議会用語Q&A……岡山副委員長

市民対談……大谷委員長、戸津川委員

委員会活動レポート……各委員会委員長へ依頼

(3) その他

○大谷委員長

その他何かあるか。

( 「なし」という声あり )

2 はまだ議会だよりminiについて

- (1) 第42号掲載内容及び原稿担当

○大谷委員長

事務局から説明をお願いする。

○村山書記

( 以下、資料を基に説明 )

## ○遠藤委員

このはまだ議会だより m i n i の閲覧数はどのくらいか。また、かかっている予算はどの程度か。

## ○村山書記

閲覧数の正確なデータはないが一度月の集計を担当課に確認した際はおおよそ百数十件であった。費用については、まちづくりセンターなどに掲示する印刷代程度で、Web掲載自体に費用は発生していない。

## ○遠藤委員

私が言いたいのは、このはまだ議会だより m i n i に意味があるのかということである。閲覧者がその程度しかいないものに労力をかける必要があるのか。浜田市民の多くは、この情報を必要としていない、興味がないということではないか。そもそも、紙媒体の「議会だより」自体を何人が見ているのかも検証されていない状況で、ただ発行している自己満足に終わっていないか、議会だより全体の在り方について、どこかで検討する機会が必要だと思う。

## ○笹田委員

言うことは分かるが、議会広報は非常に重要な項目であると思っている。見てもらうことが課題であり、これをやっている以上、どうすればもっと見てもらえるかを各委員で議論してほしいくらいである。見ていない人が多いかもしれないが、これをやることによって少しでも興味を持ってもらったり、議会が活動していることを知らせなければ誰も気付いてくれない。我々も努力しなければならない。その努力の結果が閲覧数という数字に表れている。費用対効果の議論はあるが、議会として広報広聴活動は絶対に行わなければならないことなので、その点を理解した上で、これをどう生かしていくかというプラスの方向で議論していきたいと考えている。

## ○遠藤委員

完全に否定したわけではない。私もずっと何年も隅々まで見ているので、楽しみにはしている。しかし、この議会だより m i n i が Web に上がってからどれくらい経つか分からぬが、なぜ今までこの閲覧数のままで来てしまったのか、その検証が必要だと思う。検証して次に生かしていくことが必要である。検証の仕方は難しいと思う。閲覧数だけで判断すれば必要ないとなるかもしれないが、見てもらうための方法を議論していかなければならないと思う。

例えば、二次元コードを読み込んだら浜田市の特産品が当たるといった工夫も考えられる。制度上できるか分からぬが、何か「見たら良いことがあるかも」と思わせる工夫が必要である。これだけ情報が溢れる中で、あえてこれを選んで楽しみにしている人が少ないから閲覧数が伸びないのである。その工夫の方法を今後各委員と一緒に考えていくべきではないか。

## ○西田委員

見られていないからやめるのではなく、見られるためにどうするかという議論でいくと、今回改選後に議会だより m i n i が発行され、議員自身が SNS でどれだ

け発信したかという問題にもなってくる。各委員の話は理解した上で、我々としては見てもらう工夫をしなければならないし、議会や政治を身近に思ってほしいから議員になったという面もあると思うので、そこは議論していくべきである。今回、SNSに上げた議員が何人いるのか。私も上げたら多少コメントをもらったりしたので、そういう活動を続けていかなければならない。今の閲覧数が50や100であれば、どうすればそれを1,000に、最終的には市民5万人が見てもらえるかにしていく必要があると思う。

### ○沖田委員

この後の議題である申し送り事項にも関わってくると思う。遠藤委員の言うこともすごく理解できる。ぎかいポストの回収に行ってもほとんど何も入っていない。これで本当に良いのかと思うこともある。中にはごみ箱扱いされていることもある。やはり委員会で検討していくことは非常に大事である。前回、議会の公式Facebookをやるかやらないかという議論があったと思うが、そもそも一度踏まえて、議会だよりminiの方についてはしっかり話し合っていくべきではないか。議員がどれだけ自分のSNSを使って発信しているかという点も、まだまだ手が付いていない。せっかく一生懸命文章を書いているのだから、一人でも多くの人に知ってもらいたいというのは共通の思いだと思う。

### ○大谷委員長

課題があることは承知している。しかし、現時点では、これまで決まっているやり方に沿って肅々と対応していくことになるので、ご理解いただきたい。

### ○今田委員

今後の話になるかもしれないが、トピックがない中で無理やり記事を出す必要はあるのか。速報性のある項目があれば出す、というのが議会だよりminiのイメージかと思うが、無理やりかき集めてまで出す必要がどれだけあるか疑問である。

### ○大谷委員長

決して無理にやっているわけではない。載せるべきものがあるかないかを尋ねているのであって、載せるために無理に案件を探しているわけではない。幾つかある中で、知らせるべきものを選んでいる。ただ、新しい委員もいるので、頭の中に具体的な案があまりない状況かと思い、お尋ねした次第である。話を戻すが、掲載項目について、事務局からは「新年のごあいさつ」と「石見神楽振興議員連盟の活動報告」の2案が提示されているが、これで良いか。

(「はい」という声あり)

では、その内容で進めたいと思う。あと、「議員のつぶやき」の担当者をどなたかにお願いしたいが。

### ○遠藤委員

私が担当する。

### ○大谷委員長

では、お願いする。

神楽議連の記事については、先ほどと同様、議連の会長に依頼するということで良いか。

(「はい」という声あり)

## (2) その他

### ○大谷委員長

はまだ議会だよりm i n iについて、そのほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

## 3 申送り事項について

### (1) 申し送り事項の確認

### ○大谷委員長

申し送り事項の確認について、事務局からお願ひする。

### ○村山書記

(以下、資料を基に説明)

### ○大谷委員長

説明について、質問などあるか。

### ○遠藤委員

ぎかいポストにこだわらず、メールや公式S N Sなどで直接意見をいただく形も考えられるのではないか。デジタルツールを活用すれば、もっと気軽に意見を寄せやすくなると思う。

### ○村山書記

補足だが、ぎかいポストのW e b版として議会なんでもメールがあり浜田市議会ホームページのフォームからも申込みできる。

### ○西田一平委員

それであれば、「議会だよりm i n i」にQRコードを載せて、G o o g l e フォームのようなもので意見を受け付けるのが良いと思う。I n s t a g r a mのD Mなどでは発言者が特定できず、無責任な意見が多くなる可能性がある。

### ○大谷委員長

様々な意見ありがとうございます。これら申し送り事項については、本日確認したこととし、次回の委員会で改めて時間を設けて協議したいと思う。各委員には、タブレット内の参考資料にある過去の対応状況なども確認の上、次回の議論に臨んでいただきたい。

### ○遠藤委員

先ほど出た議会だよりや情報発信の在り方についての議論は、どうなるのか。

### ○大谷委員長

それらも重要なことなので、次回の議題として取り上げたい。

### ○遠藤委員

次回、ぜひ議題として取り上げてほしい。

○大谷委員長

承知した。それでは、12月12日の予算決算委員会の後、議会広報広聴委員会を開催し議題として議会広報の在り方についてを論議したいと思う。

(2) その他

○大谷委員長

そのほかに何かあるか。

( 「なし」という声あり )

4 その他

○大谷委員長

その他、何かあるか。

( 「なし」という声あり )

○大谷委員長

ないようなので、次回の日程を確認する。次回は、12月12日の予算決算委員会終了後に開催する。また、12月23日（火）午前10時からも予定しているので、予定しておいてほしい。

以上で、議会広報広聴委員会を終了する。

[ 14 時 56分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 大谷 学